

# 生成AIリレートーク ～四大学連合で育む、組織・分野を超えた自由な議論の土壌～

## 四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアム(現:三大学連合22世紀コンソーシアム)

四大学連合※(東京医科歯科大学、東京工業大学、東京外国語大学、一橋大学)の異なる組織・専門性の研究者・大学生が、緩やかに繋がり対話を重ねることを通じ、新たな価値を目指すものである。特に、生成AIをテーマに専門の枠を超えて対話を重ねた。各回の結びに次回の登壇者への質問を設定するリレートーク形式で議論をつなぎ、最終回には全体ワークショップを実施した。生成AIという新たな技術に対して、技術的観点のみならず、社会実装や倫理的課題など幅広い観点からの議論を行うことを通じ、多様な未来像を描き出すことに繋がった。

### 総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

生成AIの広がりによる社会の変化を多面的に捉えることを目的に、多様な現場の視点を共有する。短期的には異分野知の集結と問題解決アプローチの構築、長期的には人間とテクノロジーが調和する社会の実現を目指す。

### ビジョン達成のための課題

専門分野間での言語・価値観の違い、対話の場の継続的維持の難しさ、専門性が生む非対称な関係性、さらに「専門外」と感じることで当事者意識が低下する不均衡が主な課題となる。

### 「矩」を超えた場づくり / 得られた新たな価値

AI・工学・医学・言語学・宗教学・社会科学など多様な専門の研究者と学生が参加し、多様な視点による重層的な議論を実現している。研究視点の違いを超えた場のデザインを重視し、オンライン対談や対面ネットワーキングを通じて生成AIという新たな技術に対して多様な未来像を描き出すことに繋がった。こうした学際的な場のデザインを「微重力思考」として体系化し発表している。



※組織名は実施当時。2024年10月より四大学連合は三大学連合に変更。  
(東京医科歯科大学・東京工業大学が統合して東京科学大学となったため)

# 生成AIリレートーク ~四大学連合で育む、組織・分野を超えた自由な議論の土壌~

- 狙い 対話による思考の揺らぎと深まりを共有できる土壌を育む
- 強み 理工・医学・人文・社会科学の視点が交差する連携
- 成果 単独の分野では得にくい複合的な知見の共有、多様な未来像

総合知の創出

## 方法 四大学連合の研究者・学生によるリレートーク

- 生成AIをテーマに異分野・複数組織の研究者・学生によるリレートークを研究者6回・学生6回のシリーズで行った。
- 各回の終わりに次回のゲストへの質問を考案してトークのバトンを繋ぎ、発言はウェブサイトですぐ公開していった。

	東京医科歯科大学	東京工業大学	東京外国語大学	一橋大学
キー学生	プラネタリーヘルス、AIと倫理	責任ある研究開発	人間のアイデンティティ	意思決定、仕事の変化
研究分野	人体解剖学	フェイクニュース	旧約聖書ヘブライ語	情報検索技術
	血液腫瘍	エンジニアリングデザイン	安全保障	自然言語処理
	医療データ解析	新素材開発	マレー語、言語教育	SNS上の政治的言説分析

# 生成AI リレートーク

生成AI時代の予兆を探る  
リレートーク。研究者たちの  
目に映る今が、対話の中で  
響き合い、新たな世界の輪郭  
を描き出す。

## 参加者の声

- 普段接することの無い分野の研究者同士で利害にとらわれず一つのテーマを議論でき面白かった
- 四大学でこうした対話を続けることが重要。今後も、文系理系に捉われず、共通のテーマについて議論する場があると良い



多様な専門領域の研究者が参加した初回



全体で議論を振り返る最終回

エンジニアリングデザイン×少数言語、言語教育

プロセスと解釈が重要になり、  
出力自体の価値は低下する？



東工大



東外大

安全保障政策×人体解剖学

シミュレーションの発展で、  
医学や防衛はどう変わる？



東外大



医科歯科大

宗教学×情報検索技術

何が真であり、  
偽であるか？



東外大



一橋大

新素材開発×臨床医療

人間に近い行動や  
思考は、AIで出来  
るようになる？



東工大



医科歯科大

フェイクニュース×自然言語処理

自然言語処理にcreativityがあるか？  
そもそもcreativityとは？



東工大



一橋大

全対談コンテンツはこちらからご覧になれます。

<https://www.tokyo-4univ.jp/consortium-for-post-covid-19-society/consortium/>

異分野との対話  
から生まれる  
新たな「問い」